

# 第21回 全国消防救助技術大会





# 第21回全国消防救助技術大会

平成4年8月28日

千葉市 千葉県消防学校



千葉県の中心都市として、また、首都機能の一翼を担う業務核都市として発展を続け、人口八十四万人を有し、本年四月に全国十二番目の政令指定都市としてスタートした千葉市において、「未来都市への安全と幸せを」をスローガンに「第二十一回全国消防救助技術大会」が浅野消防庁長官をはじめ、多数のご来賓をお迎えして盛大に挙行された。

この大会は、災害現場から人命を救助するための技術錬磨を目的として(財)全国消防協会が主催し、自治省消防庁、全国消防協会、(財)日本船舶振興会の後援を受けて、昭和四十七年から毎年開催しているものである。

大会の会場となった千葉県消防学校では、過去二回(第七回、第十六回)全国大会が実施されており、「千葉の大会は暑い」との評判どおり、連日の残暑が一段と暑さを増し、消防関係者や一般市民等約三五〇〇人で、開会

前から会場は熱気に溢れていた。

午前九時、千葉・船橋・市川市の各消防局音楽隊総勢約百人の迫力ある合同演奏にのつて、六人の消防職員に掲げられた大会旗を先頭に訓練役員、続いて全国九地区支部から選ばれた九一八人の精鋭隊員、最後に国際消防救助隊連合旗に先導された、全国四十消防本部五〇一人の登録隊員を代表する国際消防救助隊旗が堂々の入場行進を行った。

大会運営委員長である長谷川千葉市消防局長が、鳴り響くファンファーレとともに高らかに開会を宣言した。

原島会長、松井千葉市長のあいさつ、笹川名誉会長からのメッセージ披露、浅野消防庁長官、沼田千葉県知事、松戸千葉市議会議長の祝辞、消防議員連盟会長浜田衆議院議員をはじめ多くの方々からの祝電披露と続き、江藤北九州市消防局長の審判長指示後、千葉市消防局石野隊員が出場隊員を代表して力強く隊員宣誓を行った。

訓練が開始されるまでの一時、「総合警備保障女子儀仗隊」六十六人による「アメリカ物語」と題した華麗なるフィールド・ドリルがしばし暑さを忘れさせてくれた。

会場に設置された大型映像車、及び本席テント席のモニターテレビは、見学席からは見られない映像を提供し、見学席に居ても隊員の緊張感がひしひしと感じられた。

隊員は、照りつける太陽をも凌ぐファイトで光る汗をほとばしらせ、日頃錬磨した技術を十分に発揮し、訓練は予定どおりに進んだ。

訓練終了後、二市の消防局音楽隊と渋谷教育学園幕張高等学校ドリルチーム十七人の合

同演技が行われた。「愛・勇気・献身」を信条とし、旺盛な責任感と不屈の精神力をもって災害に立ち向かう、救助隊員の健闘をドリルに託しフィールドにおりなすフォーメーションの数々に、訓練の緊張覚めやらぬ隊員の顔もいつしか和らいでいた。

閉会式では、次回開催地である福岡市のイメージソング「ポール・オブ・ハート」が流れる中、大会旗が千葉市消防局長から結城福岡市消防局長に手渡され、堅い握手が交わされた。

千葉市消防局長の閉会宣言と同時に、「来年また福岡市であいましょう」の横断幕が掲げられ、大会の幕は閉じられた。

本大会の運営に当たられた千葉市消防局に対し、衷心より感謝を申し上げます。



開会式



あいさつ  
(財)全国消防協会  
会長 原島榮一

本日、ここに第二十一回全国消防救助技術大会を開催するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

はじめに、二十一世紀をめざす新しい国際都市として、本年四月政令指定都市へ移行し、ますます発展を遂げております。この千葉市において、本大会をかくも盛大に挙行できますことを皆様とごにお喜び申し上げます。

本日は、公務、多端の折りにもかかわりませず、浅野消防庁長官殿、千葉県知事殿、松井千葉市長殿をはじめ、多数のご来賓のご臨席をいただき、厚くお礼申し上げます。

この大会は、高度な救助技術を錬磨し、また、いかなる災害活動にも耐える強靱な体力と精神力を養うことを目的に、昭和四十七年以来毎年実施しております。その成果は国内のあらゆる

災害はもとより、国外の地震災害をはじめ、昨年のバンブーラデシユのサイクロン災害等、これまで五回にわたって派遣された「国際消防救助隊」の救助活動においても遺憾なく発揮され、高い評価を得ているところであります。しかしながら、今日の消防は、各種災害対応はもとより、年々増加する救助事象への対応、更には、救急業務の高度化の推進など、各分野にわたり積極的な対応が求められております。

昨今の災害状況をみましても、北海道縦貫自動車道の多重衝突事故や茨城県の取手駅構内列車衝突事故等、大規模な災害が発生し、多くの尊い人命が失われております。

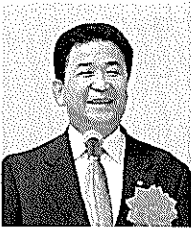
こうした災害の潜在危険は、都市基盤施設の高度利用により、一層増大している実状にあり、消防機関の行う救助業務には、従来にも増して、大きな期待が寄せられております。

全国九地区支部から選抜された九百十八名の諸君は、こうした実状と本大会の趣旨を十分に理解し平素の訓練で培われた救助技術の成果を遺憾なく発揮されまるとともに、安全管理に万全を期し、所期の目的を達成されますようお願いするものであります。

終わりにになりましたが、本大会の開催にあたり格別のご高配をいただきま

した財団法人日本船舶振興会をはじめ関係各位、並びに本大会の各般にわたり多大のご尽力をいただきました千葉

市、当局及び千葉市消防局の皆様、心からお礼を申し上げます。あいさつといたします。



祝辞  
千葉市議会議長  
松戸敏雄



祝辞  
千葉県知事(代理)  
中野副知事



祝辞  
消防庁長官  
浅野大三郎



あいさつ  
千葉市長  
松井 旭



次回開催地  
あいさつ  
福岡市消防局長  
結城助民



審判長指示  
北九州市消防局長  
江藤 功

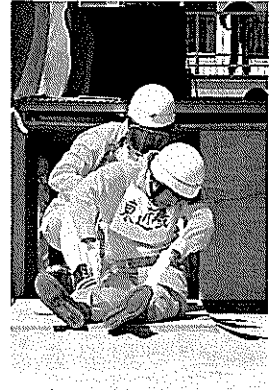
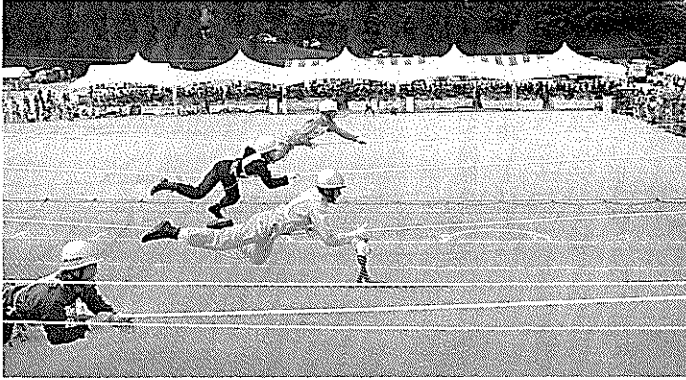


開会宣言  
千葉市消防局長  
長谷川景崇

### 斜めブリッジ救助（団体）

近年、立地条件や道路事情により、はしご車の進入できないビルが多く、消火や人命救助活動で三連はしごを使用する機会が増えていることから、今回から新たに採用した種目である。

五人一組（要救助者を含む）で三連はしごを使用して高さ七メートルの塔上に進入し、ロープで斜めブリッジ線を展張し、要救助者を救出後、脱出するまでの安全性、確実性及び所要時間を評価する。（表紙写真）



### ほふく救出（団体）

ビルや地下街で煙に巻かれた人を二人一組（要救助者を含む）で救出する基本的な訓練である。

一人が空気呼吸器を着装してハメートルの煙道に進入し、検索後、要救助者を発見し、救出する。（写真右）

### 障害突破（団体）

越える、登る、渡る、降りる、濃煙を通過する、あらゆる災害現場を想定した五つの障害を五人一組（補助者を含む）の隊員が相互に励まし、信頼し、かつ緊密な連携で突破していく。

救助のクロスカウンターともいえる。

（写真下）

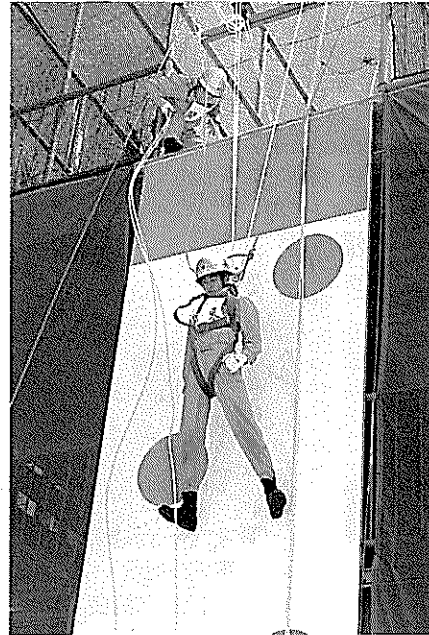
### ロープブリッジ渡過（個人）

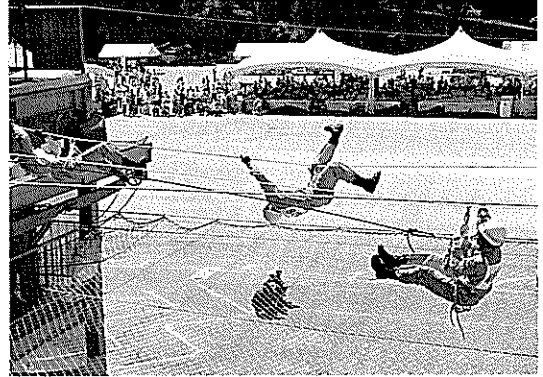
水平に展張したロープ二十メートルを往路は、セーラー渡過、折り返しのターン後、復路は、モンキー渡過する。「腕力」「腹筋」と全身のバランスがポイントになる。（写真上）

### 引揚救助（団体）

地下やマンホールに転落等した要救助者を地上に救出するという災害事例から生まれた種目である。

五人一組（要救助者を含む）で一人が空気呼吸器を着装して塔下に降下し、検索の後、要救助者を搬送し、四人で協力して地上に救出し、さらにロープ登はんにより地上に脱出する。（写真左）





ロープブリッジ救出 (団体)

四人一組 (要救助者を含む) ガビルなどで逃げ遅れた人々を隣のビルからロープを展張して救出することを想定している。

隊員一人が救出器材を携行して対面する塔上に渡過し、座席結び・運搬網・救出ロープを要救助者に結索し、対面の隊員が救出ロープを引っ張って救出する。

流れるように展開することがこの種目の特徴である。 (写真上)

ロープ応用登はん (団体)

登る隊員、地上で補助する隊員の二人一組で十五メートルを器具を使わず登り切る。

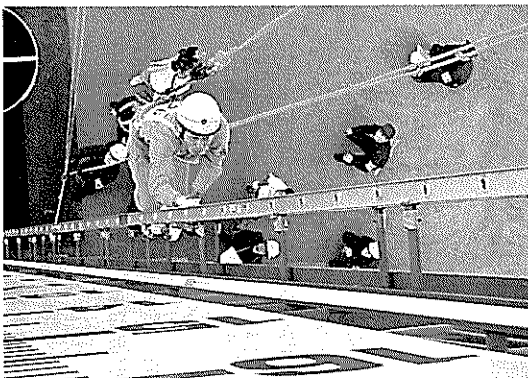
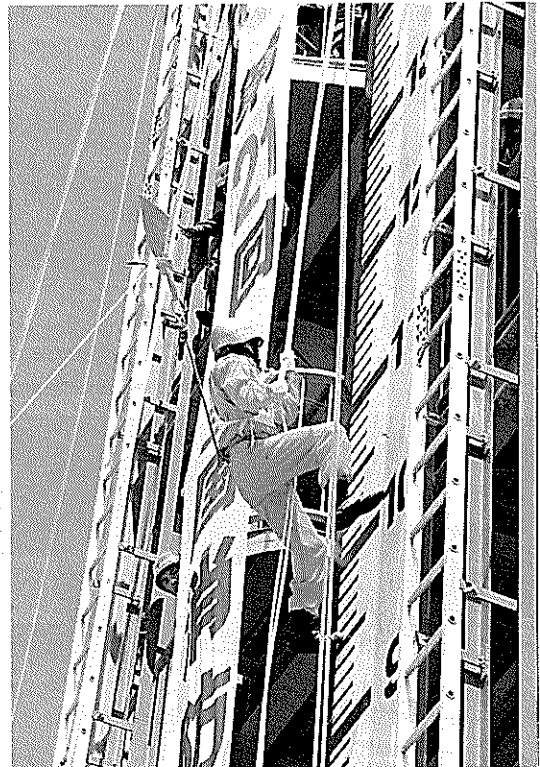
それぞれのチームが工夫した登はん方法と二人のあうんの呼吸が重要である。 (写真左)

ロープ登はん (個人)

「強靱な腕力」これは、救助隊員の体力条件の一つである。腕力だけで、垂下された十五メートルのロープを登はんする。壁面を蹴ったり、足にロープを巻きつけることはできない。純粋に腕力の限界に挑戦する。 (写真右)

はしご登はん (個人)

タタタタタッ…リスミカルに十五メートルの垂直はしごを登はんする。まさに「敏捷性」と「脚力」が必要だ。 (写真下)

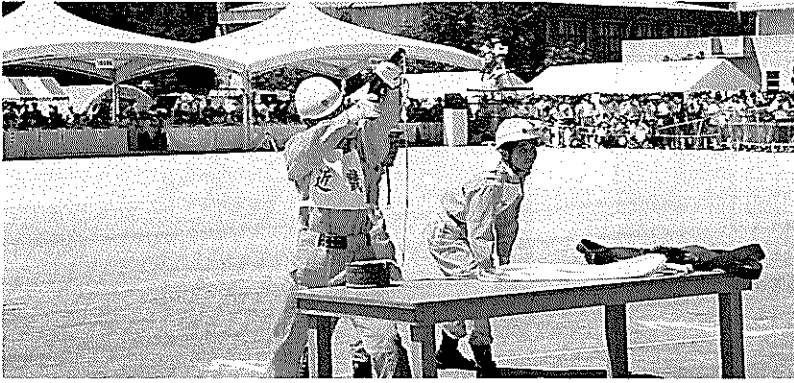


陸上の部

高所人命救助（団体）

ビルの屋上等で逃げ遅れた人を四人一組要救助者を（含む）で救出する種目である。

高さ七メートルの窓枠を狙う隊員の眼が一層厳しくなる。「バーン」と救命索発射銃の轟音とともに一斉に行動開始。設定したロープを登はんして隊員一人が窓から進入し、要救助者を救出して脱出する。  
（写真王）



複合検索（個人）

水中での行方不明者の検索を想定した種目で、より安全で効率的な活動を行うために今大会から新たに三点セット（ウンスフ、足ヒシ、スノーケル）を導入した。

泳者は、三点セットを着装して飛び込み、浮遊障害物を突破しながら水中のリングを検索引揚げる。

基本泳法（個人）

水難救助の基本である「じゅんが飛び込み」及び「種類の泳法（ぬき手、平泳ぎ）」を常に顔が水面に出た状態で行う。

溺者搬送（団体）

スタートは「じゅんが飛び込み」とし、溺者に近づいた時は、飛びつかれないように必ずスクリュウカきをして逆行の姿勢をとるようにする。搬送は基本である「チャンネル」「ヘアキャリー」を採用している。

溺者救助（団体）

救助者と補助者の二人が協力して浮環に救助ロープを結着したのち、補助者がプール内に投下、二十メートル先の要救助者の位置まで搬送する。これに要救助者をつかまらせ救助する。

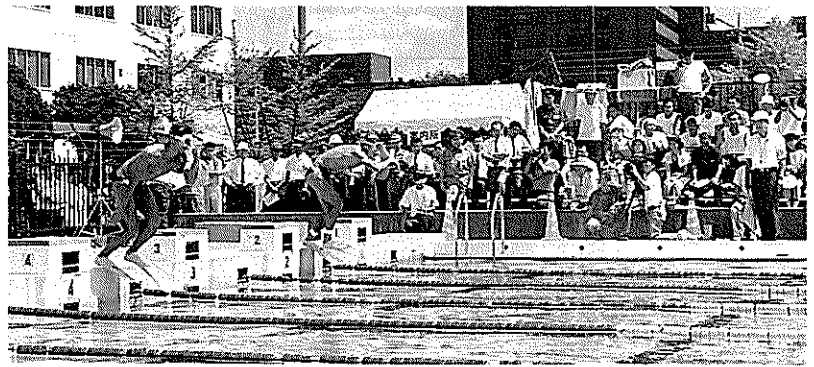
救援物資搬送（団体）

対岸または、岩場等に逃げ遅れ、負傷等をしている要救助者に対する救助必要物資の搬送を目的とした種目で、第一泳者は、一本のロープを「たすき掛け」、他の一本を

人命救助（団体）

腰部に「もやい結び」された後、五十メートルを泳ぐ、第二泳者がサーフライダーに物資の積載を完了後、協力して搬送する。物資が落下したり、粗雑に取扱った場合は減点となる。

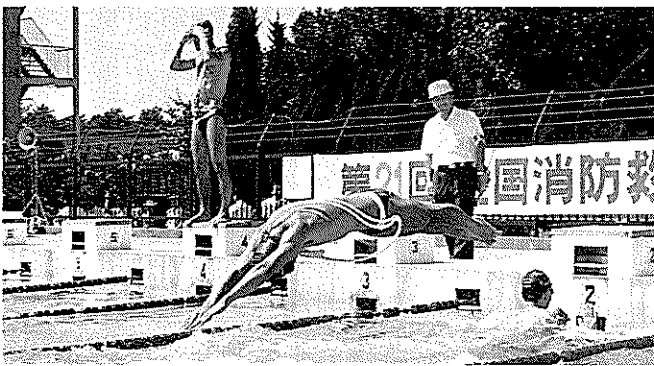
号砲により、救助者、補助者は、ロープに「二重もやい結び」を作り、救助者が「た



すき掛け」をして溺者の位置に至り補助者と協力して救助する。この種目においては、ロープの取扱いも重要なポイントとなり、またゴール時溺者の身体がプール壁面に触れた場合は失格とするなど、事故防止の徹底を期している。

水中結索（団体）

一チーム三人で編成し、水中に沈めてある輪に、第一泳者「もやい結び」、第二泳者「巻結び」、第三泳者「二回りふた結び」でロープを結索するもので、水中における結索技術の習得を図った種目である。





九州 北九州市(局) 成松 敬介  
 天草(組) 佐藤 誠二  
 八代広域行政(組) 谷口 研朗  
 阿蘇広域行政(組) 芹口 正典

ほふく救出

北海道

白老町

高野 末保

東海

大鹿 和徳

高松 崇

東近畿

篠田 秀和

川村 祐司

東近畿

榊 勇

東北

長岐 篤市

北海道

堀口 信

鷹巣阿仁広域市

中嶋 忍

八雲町

堀口 晃弘

町村園

山田 昇

岩見沢地区(事)

竹本 憲康

安孫子 辰昭

京都(局)

福島 晃一

真田 雅孝

近畿

植田 訓正

西村山広域行政

柴田 正則

大阪(局)

谷本 延明

川口市

山本 正明

伊達地方(組)

原 信一

小池 浩之

南佐渡

鈴木 一弘

鈴木 淳

関東

岡田 好明

鈴木 賀津司

関東

中野 照之

南山 泰一

関東

増淵 文雄

下村 勝美

筑西広域市町村

上野 貴史

渡邊 昇

柏原羽曳野藤井

吉敷 信行

木下 修

寺(組)

木村 誠

岸園 克己

池田 正和

平野 安司

黒島 寛二

菅田 幸宏

羽田 清

山崎 増雄

市川(局)

平野 安司

益子 論

鳥取県西部広域

市川(局)

湯本 睦夫

行政管理

佐倉市八街市

関 仁志

河上 望

平田 裕

近相 一夫

奥田 昇

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

水原郷

酒々井町(組)

酒々井町(組)

唐橋 繁英

酒々井町(組)

酒々井町(組)

唐橋 繁英

酒々井町(組)

酒々井町(組)

唐橋 繁英

酒々井町(組)

酒々井町(組)

唐橋 繁英

酒々井町(組)

酒々井町(組)

唐橋 繁英

酒々井町(組)

酒々井町(組)

唐橋 繁英

酒々井町(組)

酒々井町(組)

唐橋 繁英

四国 高吾北広域町村

九州

北九州市(局)

成松 敬介

菊池 大介

西森 輝拓

掛水 明

大原 孝道

掛水 明

藤原 弘和

伊藤 清

高橋 倫

高橋 倫

鈴木 一弘

岡田 好明

中野 照之

増淵 文雄

上野 貴史

吉敷 信行

木村 誠

平野 安司

羽田 清

市川(局)

市川(局)

佐倉市八街市

平田 裕

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

柏屋北部 有田 誠  
 許斐 芳彦  
 山見坂 成光  
 北崎 嘉典  
 本幸 幸治  
 新盛 和久  
 堀ノ内 幸夫

川内地区(組)

北九州市(局)

成松 敬介

菊池 大介

西森 輝拓

掛水 明

大原 孝道

掛水 明

藤原 弘和

伊藤 清

高橋 倫

高橋 倫

鈴木 一弘

岡田 好明

中野 照之

増淵 文雄

上野 貴史

吉敷 信行

木村 誠

平野 安司

羽田 清

市川(局)

市川(局)

佐倉市八街市

平田 裕

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

酒々井町(組)

東近畿 打田 知玄  
 坂本 卓也  
 藤本 裕一郎  
 前田 栄作  
 仲西 雅人

東近畿

近畿

北尾 太志

北口 正

石谷 恵之

阪下 晴彦

向井 敦

東山 正人

山本 宏之

川本 雅之

森宗 伸幸

内田 宏範

片山 和彦

瓜生 浩之

日高 浩徳

佐藤 靖之

中垣 広和

佐伯 真統

宗像地区

肥田 浩明

加藤 昭

五十嵐 誠

加藤 昭

加藤 昭

加藤 昭

加藤 昭

加藤 昭

加藤 昭

加藤 昭

加藤 昭

加藤 昭

加藤 昭

加藤 昭

加藤 昭



入賞者

東京消防庁  
半田茂巳  
菊池暹紀夫  
三宅博英  
伊藤義浩  
立石義孝

九州  
県央地域広域市  
町村園<sup>㊦</sup>  
城下和美

斜めブリッジ救助

東京消防庁

岩崎英智

北海道  
函館市

中村秀敏

名古屋(局)

渡辺正治

北海道  
札幌市(局)

後藤敏行

新治地方広域<sup>㊦</sup>

足立芳一

掛川市

橋本秀樹

東北  
上越地域(事)

加藤将志

東近畿  
若狭(組)

曾我弘

旭川市

森出智晴

入間東部地区

友部仲男

安城市

大見迦道

関東  
宇都宮市

高橋和隆

大津市

内田建児

東北  
両盤地区(組)

千原幸司

千葉市(局)

石野一義

近畿  
堺市高石市(組)

西川義久

関東  
宇都宮市

田崎俊哉

近畿  
柏原羽曳野藤井寺(組)

山川真也

名取市

菅原英明

船橋市(局)

大木雅史

中国  
岩国地区(組)

芦村英昭

千葉市(局)

飯田恭正

中国  
広島市(局)

柴本健一

町園<sup>㊦</sup>

田崎武四

阿房郡市広域市

小幡春夫

四国  
高知市(局)

池上幸作

藤沢市

大田一彦

中国  
広島市(局)

田中良則

長岡市

白岩武久

藤沢市

川勝吉一

原山和

東海  
小池義明

武井勉

川崎紀雄

坂田博文

関東  
関文仁

近藤敬介

大和市

丸山幸利

東海  
小池義明

清水剛

関東  
関文仁

近藤敬介

大和市

丸山幸利

高木順治  
富岡正英  
尾上美德

四国  
三豊地区広域市  
町村園振興<sup>㊦</sup>  
前川活徳

大西利昌

垣見尚博  
中田恵博  
藤村忠良

入賞者

|        |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |       |      |       |      |       |       |      |       |      |      |      |      |      |      |      |      |           |      |        |           |        |        |        |        |     |     |
|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|------|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|-----|-----|
| 伊東市    | 高森義浩  | 嶋貝敏男 | 石井安一 | 石井英明 | 森田雅彦 | 山下昌利 | 平馬秀恭 | 山本直樹 | 山田勝浩 | 長田政弘 | 山田政弘 | 田辺徹  | 柴田明男  | 浅井邦彦 | 山本雅寛  | 丹羽文博 | 岡部稔   | 後藤惣太郎 | 鷺見正文 | 清水徳弘  | 森川茂善 | 西嶋和浩 | 仁尾昭彦 | 小西昭彦 | 山本晃士 | 坊井聡士 | 梶井範之 | 山本茂  | 福井宏行      | 坂口昌広 | 丸本千影   | 松口正       | 大阪市(局) |        |        |        |     |     |
| 吹田市    | 山根誠一  | 坂倉啓造 | 山本学  | 佐伯享  | 吉瀬和夫 | 貴船正昭 | 新納秀和 | 水野政也 | 奥村恭弘 | 山本武文 | 田淵秀樹 | 河内徹生 | 右田和久  | 富士永寛 | 片岡清   | 池部明司 | 徳重篤志  | 田村佳也  | 湯原直光 | 明石充   | 近藤和幸 | 猪井博  | 村田武司 | 黒岩勝  | 正代荘一 | 岩重尚一 | 中尾孝昭 | 鶴本豊治 | 田中耕治      | 松原雄二 | 千葉市(局) |           |        |        |        |        |     |     |
| 障害突破   | 金子孝行  | 山根誠一 | 坂倉啓造 | 山本学  | 佐伯享  | 吉瀬和夫 | 貴船正昭 | 新納秀和 | 水野政也 | 奥村恭弘 | 山本武文 | 河内徹生 | 右田和久  | 富士永寛 | 片岡清   | 池部明司 | 徳重篤志  | 田村佳也  | 湯原直光 | 明石充   | 近藤和幸 | 猪井博  | 村田武司 | 黒岩勝  | 正代荘一 | 岩重尚一 | 中尾孝昭 | 鶴本豊治 | 田中耕治      | 松原雄二 | 千葉市(局) |           |        |        |        |        |     |     |
| 小樽市    | 中川朋治  | 中野英樹 | 阿部博康 | 小熊一郎 | 猪田晴一 | 加藤順一 | 廣川一清 | 小林徹  | 中川和行 | 山際芳則 | 横山正美 | 曾我丈幸 | 伊藤英樹人 | 斎藤浩  | 丸山茂   | 横山雄一 | 高橋義憲  | 若松克彦  | 町島修  | 小倉一夫  | 益子正行 | 堀江正美 | 岩上敏久 | 大高美治 | 仲田康人 | 飯田弘美 | 斉藤勝一 | 岡崎市  | 那珂瓜連地区(事) | 土浦市  | 豊栄市    |           |        |        |        |        |     |     |
| 千葉市(局) | 木村和弘  | 齊藤俊夫 | 片山政利 | 安田和男 | 矢代貞一 | 鈴木卓二 | 高橋光勝 | 石橋伸広 | 渡辺雅広 | 入木俊弘 | 松坂太  | 鈴木政義 | 芳賀信幸  | 杉山博士 | 阿部勇人  | 早濑良一 | 吉永忠司  | 平石郁男  | 水口三男 | 古屋誠一  | 佐藤隆弘 | 萩島正己 | 島野利夫 | 志水秀治 | 相合辰夫 | 上石丸徹 | 島浦祐次 | 牧野英二 | 中根豪       | 大竹郁男 | 岡崎市    | 那珂瓜連地区(事) | 土浦市    | 豊栄市    |        |        |     |     |
| 富山市    | 大須賀康親 | 鈴木聡  | 稲垣和人 | 青木満  | 小澤喜治 | 小山紀夫 | 上野泰也 | 西島秀和 | 木村唯一 | 又吉興二 | 佐藤導英 | 名畑徹  | 芦田泰典  | 森田秀幸 | 井本登己彦 | 宮崎健治 | 小谷多賀夫 | 小林竜三  | 辻井貴尋 | 柳原和次郎 | 中嶋和雄 | 寺本友明 | 田中克典 | 林英士  | 橋口博之 | 山下伸也 | 寺浦彰展 | 岩熊徹  | 米広稔       | 岡原覚  | 山根辰二朗  | 大阪市(局)    | 大阪市(局) | 大阪市(局) | 大阪市(局) | 京都市(局) | 富山市 | 富山市 |

入賞者

松江区広域行  
政  
加藤俊彦  
政岡則義

宮崎哲人  
足立博之  
江角和重  
小嶋光徳  
森脇祥宏

日笠利夫  
福家由造  
佐藤栄一  
浜口潔  
豊島昭人

高松市(局)  
|| 四国 ||

|| 九州 ||  
|| 九州 ||

引揚救助

江別市  
|| 北海道 ||  
高橋義隆  
川本範昭  
安部美孝  
鈴木拓  
林忍  
林雄二  
林々木論  
佐々木耕三  
長谷川三  
伊藤博康  
渡邊啓哉

帯広市  
|| 帯広市 ||

郡山地方広域  
(組)  
|| 東北 ||  
本田孝芳  
佐藤俊幸  
吉田和弘  
工藤政行

北九州市(局)  
高田隆生  
本田辰生  
中禮康久  
清水俊也  
中村豊

福岡市(局)  
池田稔  
山本学  
米崎洋治  
青木克也  
川野芳克  
川原正志  
落水田伸一  
赤塚稔  
山下貴充  
福永誠

国分地区(組)  
|| 国分地区(組) ||

|| 関東 ||  
新治地方広域  
佐藤正男  
中村芳実  
色川光司  
石橋信治  
酒井祐一  
野崎通男  
君塚政則  
秋庭利行  
興津辰男  
花島幸一  
秋葉健次  
猪狩好弘  
松戸直己  
高松誠  
小島智也

|| 東海 ||  
豊田市  
鈴木正人  
長谷川鎮  
加納雄一  
小村匡  
小野周  
丸山毅  
藤掛和訓  
早坂和彦  
川村成光  
相羽利幸  
安田稔

|| 東近畿 ||  
羽咋郡市広域圏  
|| 東近畿 ||

|| 中国 ||  
広島市(局)  
堀田盛夫  
原田俊治  
前田賢一  
山本隆之  
河野宏治  
池田俊昭  
花田幸喜  
本島義廣  
高松伸  
天野泰齐  
逞鍋治仁

|| 四国 ||  
松山市(局)  
|| 四国 ||

松戸市(局)  
菊地要二  
圖子敏哉  
猪股克彦  
吉野克彦  
加藤智史  
渡邊浩史  
田中繁彦  
関沢雅之  
関森敏彦  
澤々木芳文  
佐々木朗  
前川士郎  
長田聡章  
平野弘幸  
中安俊裕  
山下慎一  
山下英之  
花村英之  
塩崎正人  
内藤雅之  
戸塚篤義  
橋本竜幸

東京消防庁  
|| 東京消防庁 ||

|| 近畿 ||  
大阪市(局)  
|| 近畿 ||

掛川市  
柏原羽曳野藤井寺(組)  
|| 掛川市 ||

|| 九州 ||  
久留米市  
|| 九州 ||

|| 九州 ||  
大分市(局)  
|| 九州 ||

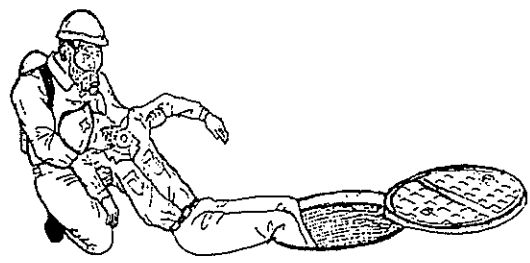
|| 九州 ||  
|| 九州 ||

三好重弘  
赤崎重朗  
片岡二朗  
坂本智明

橋橋晋一  
川島父三男  
執行悟  
麻生康成  
権藤昭夫  
長友道昭  
岡本健二  
黒枝順二  
杉崎国弘  
足達清勝

|| 九州 ||  
|| 九州 ||

|| 九州 ||  
|| 九州 ||



入賞者

(水上の部)

複合検索

北海道

札幌市(局) 小山重樹

札幌市(局) 井村拓二

東北

八戸地域広域市

町村園

千葉市(局) 草野好造

市原市(局) 佐藤司典

東京消防庁 峰尾武博

東京消防庁 高波静男

川崎市(局) 遠藤正和

逗子市 宮川浩司

東海

岡崎市 村上一生

小牧市 松野直樹

岐阜市 吉村基道

東近畿

大津市 喜納伸行

湖南(組) 高橋一貴

京都市(局) 石坂隆則

近畿

大阪市(局) 畠山裕幸

大阪市(局) 山中隆行

神戸市(局) 米谷敬一

尼崎市(局) 秋田尚也

中国

広島市(局) 梶谷泉

呉市(局) 柴崎英司

廿日市市 安達博明

基本泳法

北海道

函館市 鳥居秀幸

札幌市(局) 立花智洋

東北

八戸地域広域市

町村園

関東

川口市 照井武

東京消防庁 江渡毅俊

東京消防庁 池田義昭

川崎市(局) 大逝充士

小田原市 中澤智

東海

名古屋市(局) 岩田昌二

名古屋市(局) 石原尋孝

東近畿

高浜市 三井啓史

近畿

大津市 佐山佳克

京都市(局) 吉村彰二

奈良市 清水映

近畿

大阪市(局) 馬場賢治

神戸市(局) 高橋伸武

四国

大川広域 山上雅彦

大川広域 廣瀬伸

九州

佐世保市(局) 松村洋一

人吉下球磨(組) 大岩信行

天草(組) 戸村羊士

中国

広島市(局) 濱田伸二

広島市(局) 池田誠之

四国

海田地区(組) 沖本博之

高松市(局) 竹内秀和

高知市(局) 桂井司郎

九州

福岡市(局) 藤野文称

佐賀市 山口博文

大分市(局) 吉良誠

山本勉

高田陽介

明石市 山本勉

尼崎市(局) 山本勉

北海道

札幌市(局) 子出藤

省住 小山重樹

東北

八戸地域広域市

町村園

東海

名古屋市(局) 田島孝一

千葉市(局) 大野治夫

東京消防庁 三橋亮

東京消防庁 関根大輔

東京消防庁 水谷清子

東京消防庁 秋山和彦

東京消防庁 山田靖一

東京消防庁 江成幸夫

東京消防庁 篠原康弘

東京消防庁 加藤丈晴

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

東京消防庁 東京消防庁

人命救助

東海

名古屋市(局) 吉本直弘

名古屋市(局) 成田篤春

名古屋市(局) 鎌田篤努

名古屋市(局) 森川博志

名古屋市(局) 門畑博志

名古屋市(局) 加藤孝

名古屋市(局) 三岡均

名古屋市(局) 佐橋正樹

名古屋市(局) 田家茂

名古屋市(局) 名古屋市(局)

名古屋市(局) 名古屋市(局)

近畿

枚方寝屋川(組) 小嶋成幸

神戸市(局) 門川佳和

原田志朗

藤原幸人

野島健治

荒木大輔

中国

広島市(局) 西村重夫

松野利通

伊藤恵一郎

田中義樹

四国

八幡浜地区施設

山崎雄二

木戸克安

九州

熊本市(局) 藤山修一

山内正博

蔵屋秀史

大山孝文

鹿児島市(局)

鹿児島市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

横浜市(局)

入賞者

〓東近畿〓  
京都市(局)

西山 誠  
森田 浩樹  
山本 幸伸  
東山 誠

海田地区(組)

沖本 博之  
丸田 輝文  
中島 誠二  
細川 誠二

〓九州〓  
福岡市(局)

山口 和矢  
大塚 啓司  
鬼木 広明  
村本 和磨

佐賀市

福齒 正人  
武藤 洋志  
松本 和晃  
小峰 和善

〓中国〓  
広島市(局)

田川 重信  
岩藤 洋治  
福永 治

〓近畿〓  
大阪市(局)

栗田 栄司  
青野 幸次  
泉 孝浩  
一木 邦彦

南国市

棚橋 千浩  
中村 之彦  
山下 真弘  
川田 真嗣

〓北海道〓  
札幌市(局)

井村 拓二  
戸出 勝敬  
宮出 芳昭

〓近畿〓  
大阪市(局)

林 孝司  
小野 孝司  
山野 晃一  
荒卷 大策

〓九州〓  
長崎市(局)

山本 哲也  
上田 勝海  
山口 典昭  
金子 義和

〓中国〓  
大阪市(局)

馬場 賢治  
谷 光明  
島山 裕幸  
松木 大介

〓九州〓  
佐伯広域

川下 義文  
小野 順二  
賀河原 幹  
矢野 裕輔

〓関東〓  
東京消防庁

原田 実  
袴田 信一  
澁谷 聡  
渡邊 正志

〓関東〓  
神戸市(局)

前川 和男  
花山 和男  
岩佐 敏行

〓熊本市(局)

藤山 修一  
渡辺 英典

溺者救助

〓関東〓  
市原市(局)

佐藤 司典  
小嶋 信行  
伊藤 寛行  
中村 孝

〓東近畿〓  
大津市

弓坂 則行  
中島 憲三  
草川 孝博  
中西 英樹

〓東海〓  
名古屋(局)

小塚 一秀  
村口 浩二  
林 浩昭  
安藤 一春

〓北海道〓  
札幌市(局)

佐々木 敏博  
佐藤 嗣  
加藤 努

〓九州〓  
大岩 信行  
尾方 鉄也  
中村 真二

東京消防庁

千葉 佳典  
照井 仁蔵  
吉田 茂  
宮川 浩司

〓近畿〓  
大阪市(局)

谷 光明  
中山 隆行  
小野 重樹  
宮崎 重樹

〓東海〓  
各務原市

加藤 貴志  
江成 幸夫  
守谷 宏  
油谷 大助

〓関東〓  
東京消防庁

對馬 光範  
勝田 崇  
澁谷 聡  
横田 伸一

〓九州〓  
人吉下球磨(組)

松本 大介  
富山 善夫  
谷 康彦  
小嶋 成幸

〓東海〓  
岡崎市

磯谷 守男  
柴田 幸三  
山田 貴淑  
木股 伸一

〓中国〓  
吳市(局)

澤田 信一  
村越 博  
小山 真一  
中矢 伸吾

〓東近畿〓  
大津市

重盛 篤樹  
長 貴史  
堀内 信彦  
浦山 孝康

〓東海〓  
各務原市

安藤 一春  
大沢 昭彦  
加藤 一明  
林 孝司

〓近畿〓  
大阪市(局)

篠原 辰治  
増田 勝  
横田 伸一  
横山 浩二

〓四国〓  
松山市(局)

河合 誠  
山内 達己  
木股 伸一  
山田 貴淑

〓近畿〓  
大阪市(局)

泉 孝浩  
宮崎 重樹  
小野 重樹  
中山 隆行

〓東海〓  
各務原市

加藤 貴志  
江成 幸夫  
守谷 宏  
油谷 大助

〓東海〓  
各務原市

篠原 辰治  
増田 勝  
横田 伸一  
横山 浩二

〓近畿〓  
大阪市(局)

篠原 辰治  
増田 勝  
横田 伸一  
横山 浩二

可茂(事)

河合 誠  
山内 達己  
木股 伸一  
山田 貴淑

〓四国〓  
松山市(局)

中矢 伸吾

〓近畿〓  
大阪市(局)

浦山 孝康

〓近畿〓  
大阪市(局)

林 孝司

〓近畿〓  
大阪市(局)

林 孝司

消防本部名の略号

・(局)は、消防局の略

・(組)は、消防組合の略

・(事)は、消防事務組合の略

・(組)は、組合の略

・(組)は、事務組合の略



進 行

「素晴らしい動きについついアナウンスにも力が入りました。」  
(アナウンサーの花井さん一右)



声 援

「息子が出場しましたので一家で相模原から応援に来ました。」



若 さ

千葉経済高等学校の皆さん  
(プラカード・表彰式に大活躍)

華 麗

「皆さんに見ていただいうれしかった。これからも、全国いろんなところへ演技に出かけます。」  
(特別演技をした女子儀仗隊の井出さん)



安 心

「猛暑の中、特に救急処置の必要もなく、ほっとしました。」  
(稲毛消防署 救急隊の皆さん)

全国大会経過

|      |             |                 |      |             |                         |
|------|-------------|-----------------|------|-------------|-------------------------|
| 第1回  | 昭和47年 9月28日 | 東京都 豊島公園        | 第11回 | 昭和57年 8月19日 | 横浜市 消防訓練センター            |
| 第2回  | 昭和48年 9月21日 | 大阪市 麴町公園        | 第12回 | 昭和58年 8月19日 | 大阪市 大阪城公園・消防学校          |
| 第3回  | 昭和49年 9月18日 | 横浜市 県立保土ヶ谷公園    | 第13回 | 昭和59年 8月24日 | 名古屋市 白川公園・瑞穂プール         |
| 第4回  | 昭和50年 9月10日 | 東京都 平和島公園       | 第14回 | 昭和60年 8月23日 | 広島市 中央公園・県立屋内プール        |
| 第5回  | 昭和51年 9月10日 | 名古屋市 白川公園・瑞穂プール | 第15回 | 昭和61年 8月22日 | 神戸市 市民防災総合センター・神戸市王子プール |
| 第6回  | 昭和52年 8月5日  | 横浜市 消防訓練センター    | 第16回 | 昭和62年 8月21日 | 千葉市 県消防学校               |
| 第7回  | 昭和53年 8月22日 | 千葉市 県消防学校       | 第17回 | 昭和63年 8月19日 | 横浜市 消防訓練センター            |
| 第8回  | 昭和54年 8月24日 | 大阪市 消防学校        | 第18回 | 平成元年 8月25日  | 名古屋市 白川公園・瑞穂プール         |
| 第9回  | 昭和55年 8月29日 | 名古屋市 白川公園・瑞穂プール | 第19回 | 平成2年 8月24日  | 広島市 中央公園・ファミリープール       |
| 第10回 | 昭和56年 8月19日 | 横浜市 消防訓練センター    | 第20回 | 平成3年 8月28日  | 大阪市 消防学校                |



ESCUE



第11号

平成4年9月20日発行

編集 (財) 全国消防協会  
発行

〒102 東京都千代田区飯田橋3-11-13  
(飯田橋急便ビル) 電話03(3234)1321(代)